

2024年4月4日

製造業向け金属 3D プリンター EOS M 290 1kW の販売を開始

—純銅での造形を可能とする高出力モデル—

株式会社NTTデータ ザムテクノロジーズ

株式会社NTTデータ ザムテクノロジーズは、製造業向けの高出力金属 3D プリンターである EOS M 290 1kW を 2024 年 4 月 4 日より販売開始します。EOS M 290 1kW は、金属 3D プリンターの世界シェア No.1 であり受賞歴がある^(注1)EOS M 290 に 1kW レーザーを搭載した L-PBF 方式^(注2)の金属 3D プリンターです。試作品だけでなく量産品の製造への活用を目的としています。

従来、その伝導率の高さから純銅での造形はレーザーで熔融・焼結が困難でした。今回 1kW という高出力レーザーを搭載したことで、より高性能で耐久性、市場競争力のある部品の設計や製造が可能になります。

【背景】

EOS M290 1kW は、これまで EOS 製 3D プリンターのカスタマイズを専門とする EOS グループの AMCM 社^(注3)が、カスタマイズ機 AMCM M 290 1kW として開発・製造・販売を行っていました。市場での需要が非常に強かったため、この度 EOS の標準機としてラインナップしました。

【特長】

EOS M 290 1kW は、宇宙、エネルギー、モビリティ/輸送などの幅広い産業での利用に最適なモデルです。これらの産業でよく利用される、熱交換器やインダクターなど、伝導率の高い銅や銅合金といった従来のレーザー出力では対応が難しい素材の造形に適しています。

■EOS M 290 1kW スペック

造形可能領域(xyz):	250×250×325mm
レーザー出力	: 1kW
レーザー本数	: 1本
生産性	: ~55.4cm ³ /h
スキャン速度	: ~7.0m/s
フォーカス径	: ~90 μm



図 1. EOS M 290 1kW

【今後について】

現時点で認定済みの材料は EOS Copper CuCp と EOS Copper CuCrZr の 2 種類です。今後 2024 年の後半をめどに他の材料も追加予定です。

NTT データ ザムテクノロジーズではお客様のご希望材料での造形を叶えるパラメータの受託開発も請け負っています。EOS のラインナップにない材料をご希望のお客様は当社までお問い合わせください。

また、AMCM 社によるカスタマイズ機の中で需要が大きいモデルは、今後 EOS 標準機となる予定です。AMCM 社はお客様個別のご要望に応じたカスタマイズを行っておりますので、ご希望のスペックがございましたら当社までお問い合わせください。

(注¹) EOS M 290 は多くのユーザー様に選ばれ、2021 年度の Enterprise 3D Printer of the Year (Metals) Award を受賞しました。 <https://3dprintingindustry.com/news/2021-3d-printing-industry-awards-winners-announced-198231/>

(注²) L-PBF: Laser Powder Bed Fusion の略称。レーザー粉末床溶融結合法と呼ばれ、産業用金属 3D プリンターで最も一般的な方式です。

(注³) AMCM 社 HP: <https://amcm.com/>

【本件に関するお問い合わせ先】

<p>■ 報道関係のお問い合わせ先 株式会社 NTT データ ザムテクノロジーズ 経営戦略統括部 コーポレート部 Tel:03-6433-0577</p>	<p>■ 製品・サービスに関するお問い合わせ先 株式会社NTTデータ ザムテクノロジーズ 営業統括部 マーケティング部 鈴木 里英子 Tel:072-789-9155</p>
---	---